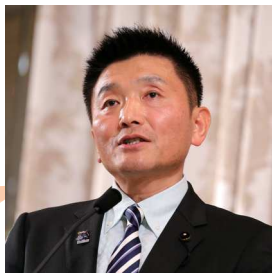
月刊
熊本県議会議員
髙島和男がゆく
平成31年3月号



新春のつどい

1月19日（地元後援会）、2月1日（地域・企業・団体等）の2回に分けて「新春の集い」を開催しました。

新年早々、月始めの週末にも関わらず計600人を超える皆様にご来場いただきました。

平成最後の年が幕を開けました。4月1日には新しい元号が発表。4月30日に今上陛下が退かれ、翌5月1日には皇太子様が新しい天皇に即位されます。

「御代がわり」、歴史のページがかわる瞬間を日本人の1人として皆さんと喜びを分かちあいたいと思います。

早いもので前回の選挙から3年9ヶ月が経過しました。私が議員として常日頃から心がけていることが3つあります。

先ず1つ目は地震の対応はじめ地域の課題解消に迅速に取り組むことです。

勿論、結果として出来たこと、出来なかったことありますが、私は県、市、関係機関と連携をはかり1つ1つ真摯に丁寧に対応して参りました。

2つ目は広報活動です。ともすれば議員は日頃何をしているのか分からない…といった批判を耳にします。私は平成14年初めて市議に立候補を決意した時から今日迄16年間、自身の活動、県や市に対する考えをホームページやライン、フェイスブックを通じて発信し続けて参りました。また、この2年間は「インターネットは苦手」という方も沢山いらっしゃいますので月刊誌「髙島和男がゆく」を制作配布して参りました。

3点目は笑顔を産み出すことです。私は毎月どこかの地域でグラウンドゴルフ、ゴルフコンペ、ミニバレー等のイベントを開催しています。県政や地域の課題解消が議員の1丁目1番地の仕事であることは間違いありません。

しかし同様に大切なのは市民の皆さんに喜んでいただく機会、場面をつくり笑顔を産み出す。そのことが私達議員に課せられた究極のミッションです。

迅速な対応、広報活動、笑顔を産み出すこと。この3点をこれからもしっかり堅持します。

私は2世議員ではありません。特定の組織、大きなバックがあるわけでもありません。皆さん1人1人と縁あって出会い、その出会いを絆にし、絆を太く、強く、広めることで今日の県議会議員　髙島和男がありります。

3月29日告示、4月7日投開票。

気を緩めることなく最後迄全力疾走で駆け抜けてまいります。

本年が皆様にとって幸多い1年になることを祈念して新年の決意の言葉と致します。

〈当日の挨拶を一部抜粋して掲載〉

髙島和男事務所
届けます！あなたの思いを県政に
髙島和男サポーター募集中です！
〒862-0962 熊本市南区田迎 2-17-7
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009
ホームページでは写真付日記を毎日更新！
http://takashima-kazuo.com
Facebookもやっています！

第19回　託麻中学校区 卒業記念交流会

1月26日、藤崎台球場で開催された「第19回託麻中学校区 卒業記念交流会」に参加しました。この交流会は託麻中学校区の4つの小学校で野球部に所属する6年生の卒業を記念してスタートし、今回19回を数えます。

開会式で挨拶をさせていただく機会を頂戴し、

①地元出身で大竹耕太郎選手という素晴らしいお手本がいらっしゃる、皆さんも夢の実現に向けて日々努力を積み重ねて下さい

②6年生はそれぞれのユニフォームを着てプレーするのは最後。思い出に残る1日にして下さい

③藤崎台球場は熊本の野球選手にとっての聖地。ここでプレーできることは当り前のことではなく、確保してくれた保護者に感謝の気持ちを忘れないでもらいたい～　旨を話したのでした。

寒い中でしたが子供達から元気をいただきました！

秋吉翔太くん祝賀会

1月26日、昨年男子プロゴルフツアーで2勝をあげた秋吉翔太くんの祝賀会に出席しました。翔太くんは田迎小、託麻中卒業で我が家の子供達とも仲良く、ミニバレーをご縁に長年ご家族とも親交があることからお誘いいただいたのでした。

ツアー優勝もさることながら、副賞の賞品を地震の復旧・復興に役立ててもらいたいという郷土を思う気持ちに心打たれました。

早速関係機関と連絡を取り合い、仮設住宅の夏まつりに沢山の美味しいアイスクリームが届けられたのでした。

いつも笑顔いっぱい、誰からも愛される翔太くんの今後の活躍を期待しています。

池亀町 交差点改良

昨年、池亀町の自治会から井芹川沿いのY字交差点で事故、ヒヤリ、ハットが多発しているので改良を！との相談を受けました。

警察はじめ関係機関と連絡を取り合い、以下を実施しました。

①交差点を強調するためにカラーで囲む

②横断部分のカラー化

③「交差点注意」「横断者注意」の喚起表示

をしました。